

外部有識者による点検対象事業の選定について（案）

令和3年5月21日
行政事業レビュー推進チーム**1. 令和2年度原子力規制委員会の政策体系**

- 令和2年3月30日に開催された原子力規制委員会において、令和2年度重点計画・政策体系を以下のとおりとすることが決定。
 - ・ 「原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること」を令和2年度の政策目標（組織目標）とすること
 - ・ 上記政策目標を達成するため、以下5つの施策目標を実施すること
 - － 独立性・中立性・透明性の確保と組織体制の充実
 - － 原子力規制の厳正かつ適切な実施と技術基盤の強化
 - － 核セキュリティ対策の推進と保障措置の着実な実施
 - － 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の安全確保と事故原因の究明
 - － 放射線防護対策及び緊急時対応の的確な実施

- 各施策目標を実施するための予算事業は別添1を参照。

2. 外部有識者による点検対象事業の選定基準

- 行政事業レビュー実施要領（行政改革推進会議決定）においては、
 - ① 前年度に新規に開始した事業
 - ② 今年度が事業の最終実施年度又は最終目標年度に当たる事業
 - ③ 過去5年レビュー未実施の事業（※）その他必要に応じて追加可能
を「各府省庁の外部有識者会合」及び「公開プロセス」の点検対象事業とする旨規定。
- また、公開プロセスについては、上記のうち、原則1億円以上の事業規模が大きいものなど、バランスに配慮して選定を行うこと等が規定。

3. 外部有識者による点検対象事業の選定（案）

- （1）当庁外部有識者会合及び公開プロセスの点検対象事業
 - 上記2. の①～③に該当する事業は別添2の8事業。
- （2）公開プロセスの点検対象事業（候補）
 - 公開プロセスについては、例年、当推進チームから外部有識者に4事業を候補として示し、その中から2事業を外部有識者に選定いただいているところ。
 - 当推進チームとしては、今回、上記（1）で対象とした8事業のうち、事業規模等を考慮して、別添3の4事業を候補として示すこととしたい。

- なお、上記（１）で抽出した８事業から、公開プロセスの点検対象として最終選定いただく２事業を差し引いた６事業については、当庁外部有識者会合による点検対象となる。

4. 外部有識者による点検対象事業の最終決定

- 行政事業レビュー行動計画に基づき、上記３．（１）（２）により本日選定いただいた後、本日から起算して５日間（土日、祝日を除く。）、外部有識者による点検対象事業の追加又は変更に係る申出を受け付けることとし、これを経た上で最終決定する。
- なお、受け付けた申出について、当推進チームとして対応することができない場合には、その理由を当庁ホームページにおいて公表するものとする。